※記載例を参照の上、ご記入ください。

（様式第3号）

企業・団体名（春蘭の宿さかえや）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.11.30変更】

	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組（県などの取得証証があれば、併せて記載）（【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			障がい者や外国籍の人材への受け入れと人権教育をしているダイバーシティ経営企業100選に選ばれている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			子育て･人材育成セミナーを通じて、パワハラ防止を勧めている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			長時間労働防止の為の対策会議を定期的に行っている(マネージャーミーティング)								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国籍のスタッフにおいても、平等な評価と平等に扱っている。宗教上や文化上の都合（大浴場に入りたがらないなど)にも配慮している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			休館日を定期的に設け、館内整備、清掃にとり組んでいる。労働災害防止にも取り組んでいる。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			半年に1回の社長との面談を行い、カウンセリングをしている。また、メンター制度というものがあり、特に新人には話しやすい担当者をつけている。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			平成29年に新ダイバーシティ経営企業100選受賞					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			マネージメントゲーム研修、人材育成セミナー、おもてなし研修の実施				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			同一労働同一賃金の原則を導入している。正社員のパート化においても待遇が下がらないように配慮。パート社員の正規雇用条件を明記している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			サキベジ運動に参加。従業員の食事では手作りにこだわり、栄養バランスを考えて献立を立てている			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			ゴミの分別の徹底。物を使い切る啓発活動の実施。											11.6	12.4		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			カロリーメーターをつけて低炭素化を図って取り組んだ。現在は省エネ基準をクリアしている機器への入れ替えや電気使用量の把握、灯油使用量の把握を日々行い、管理している。							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			ソーラーシステムとエコキュートのハイブリットシステムにより、化石燃料の使用料の削減。電気使用量に関してはデマンド装置を設置し、24時間監視警告するシステムの導入							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			温泉成分での定期的な成分分析と、処理の適正化の確認			3.9			6.3					11.6	12.4					

	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			ユネスコパーク内に存在するということもあり、動植物の保護と共存に協力している。ホタルの育成。猿害の報告。						6.6									15		
16		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			物の性を尽くすという理念に基づき、修繕できるものは修繕し、利活用できるものは利活用している 例）古い浴衣の生地を使った草履づくり･エコキャップ運動など												12.5		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			山の湧水を使って水風呂を建設した。温泉の排湯を活用し融雪に使っている。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ															12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			太陽熱、地熱、温泉熱の活用。							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			根曲竹の子の調達は地元の植生や環境に配慮して調達を調整している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			生き方研修を行い、その中で方針･考え方を周知するとともに、月1回のマネージャーミーティングでも確認している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			生き方研修を通じて方針･考え方を周知している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			弊社で開発中の研修やコンサルティング手法などの知的財産の保護に取り組む予定。また、地域で使っているキャラクターなどには開発者の許可をとっている。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			顧客情報の適正管理。宿帳のシュレッダー破棄。ホームページによる告知。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		取り扱っていない。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			地元の組合と協力して環境整備に努めたり、タクシー会社と共同して、顧客輸送に取り組む。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を今月中に申し込み予定。			3					8	9	10							17

		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			館内の除菌、触るところの抗菌塗装。マスク着用･手指消毒･検温の徹底。従業員食堂の密回避とパーティション設置			3.9									12.4					
30	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			顧客満足度調査の実施(お客様アンケート)									9								
31	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			お客様へトイレットペーパーを最後まで使用することを推進している。						6						12	13	14	15		
32	製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			不登校や引きこもりの若者たちの就労支援、学習支援を行っている。フリースクールも開講している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			駅から旅館までの送迎をする旅館が多い中、地元のバス会社やタクシー会社の利用を勧めて、仕事を奪わないようにしている。温泉街の食事場所やお土産屋さんの利用を勧めている。自社の研修を地域に公開して他社も受けられるようにしている。温泉街の該当塗り替えなどの仕事の引き受け				4					9		11	12		14	15		17
34	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			地元のコミュニティセンター等のボランティ掃除の実施。児童養護施設、病院への寄付。				4							11			14	15		17
35	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			地元食材の積極的利用と信州ブランドを活用した料理コースの開発。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			朝礼での経営指針の発表								8	9								17
37	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			36協定の遵守、休日取得、有給消化への取組努力をしている。社長が納期内税推進協議会の副会長を務めている																16	
38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			現在、社長が担当。今後スタッフで担当者を作っていく。																16	
39	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			従業員の福利厚生アップ、社員教育。地元の中学校、高校、養護学校などの職場体験引き受けにより、就業意識の向上へ貢献																16	17
40	組織体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			年に2回の避難訓練時に、危機管理の確認をしている。																16	
41	組織体制	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			CO2削減に取り組んでいる。省エネ推進。炭素エネルギー削減→ソーラーシステムの導入により、灯油使用料を半減に成功																16	
42	組織体制	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	今後やる予定。									9		11		13 13.1			16	
43	組織体制	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			第三者警鐘を模索し、社員で回せる体制づくりと人材育成を行なっている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
旅館業における働きがいと働きやすさの両立をし、付加価値を上げていく。		各スタッフに役割を持たせ、出番を作ることと同時に有給休暇取得率70%を目指して取り組み、自主性を上げてサービス開発をすることで高付加価値のサービスを生み出している。																	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定